

## 平成29年度（30年3月期） 第2四半期連結決算概要

### 1.平成29年度 第2四半期 決算実績 <対前期>

#### (1)決算実績のポイント 増収増益：増収は3期ぶり、増益は2期ぶり（純利益ベース）

ガス販売量	△74百万m <sup>3</sup>	:他事業者向供給の供給先減
電力販売量	+835百万kWh	:小売電力件数増
売上高	+826億円	:原料費調整に伴う単価増などによる「都市ガス」の売上増 +451億円 :小売電力販売量増などによる「電力」の売上増 +341億円
営業費用	+746億円	:原油価格上昇影響などによるガス原材料費等増 +584億円（当期2,719←前期2,135） :小売電力販売量増に伴う電力営業費増 +295億円（当期923←前期628）
営業外損益	+2億円	:受取配当金 +8億円、持分法による投資利益 △6億円（当期2←前期8）
特別損益	+3億円	:（当期）固定資産売却益 +32億円 :（前期）投資有価証券売却益 +29億円

<平成29年9月末現在連結会社数：連結子会社71社、持分法適用関連会社8社> (単位:億円)

決算実績表	29年度2Q	28年度2Q	増減	%
売上高	7,903	7,077	826	11.7
営業費用	7,461	6,715	746	11.1
営業利益	442	362	80	22.1
経常利益	426	343	83	23.9
親会社株主に帰属する当期純利益	319	264	55	20.6

経済フレーム	29年度2Q	28年度2Q	増減
為替レート(¥/\$)	111.04	105.25	5.79
原油価格(\$/bbl)	51.37	43.78	7.59
平均気温(°C)(※)	21.2	21.5	△0.3

(※)お客さまそれぞれの、ご使用期間（前月の検針日から当月の検針日まで）における気温を平均したものを。

#### (2)ガス・電力販売量

		29年度2Q	28年度2Q	増減	%	
ガス	家庭用	百万m <sup>3</sup>	1,304	1,268	36	2.8
	業務用	百万m <sup>3</sup>	1,307	1,296	11	0.8
	工業用	百万m <sup>3</sup>	3,628	3,612	16	0.4
	計	百万m <sup>3</sup>	4,935	4,908	27	0.5
	他事業者向供給	百万m <sup>3</sup>	897	1,034	△137	△13.2
	合計	百万m <sup>3</sup>	7,136	7,210	△74	△1.0

家庭用：上期の低気温影響による給湯需要増  
業務用：夏場の高気温影響による空調需要増  
工業用：ほぼ前年同期並み  
他事業者向供給：供給先減

当社供給区域内の2Q末都市ガス取り付けメーター数（千件）：11,584（対前期+136）

		29年度2Q	28年度2Q	増減	%	
電力	小売	百万kWh	1,834	685	1,149	167.7
	その他	百万kWh	5,173	5,487	△314	△5.7
	合計	百万kWh	7,007	6,172	835	13.5

小売：件数増による販売量増

#### (3)セグメント別売上高・セグメント利益 (単位:億円)

	売上高				セグメント利益			
	29年度2Q	28年度2Q	増減	%	29年度2Q	28年度2Q	増減	%
都市ガス	5,073	4,622	451	9.8	425	435	△10	△2.2
電力	990	649	341	52.5	67	21	46	212.1
海外	205	130	75	57.5	26	14	12	88.7
エネルギー関連	2,118	2,059	59	2.9	59	71	△12	△16.6
不動産	207	202	5	2.5	42	43	△1	△0.5
その他	417	389	28	7.2	13	7	6	79.6
調整額	△1,109	△975	△134	-	△190	△222	32	-
連結	7,903	7,077	826	11.7	444	370	74	19.9

(注)・セグメント別売上高には事業間の内部取引を含んでいる。  
・セグメント利益には持分法損益を含んでいる。セグメント利益の調整額の主なものは、各セグメントに配賦していない全社費用。  
・「エネルギー関連」の主要な製品・サービスは、エンジニアリングソリューション、液化石油ガス、産業ガス、LNG販売、ガス器具、ガス工事、建設等。

#### (4)主要計数 (単位:億円、%)

	29年度2Q	28年度2Q	増減		29年度2Q	28年度2Q	増減
設備投資	678	823	△145	D/Eレシオ	0.65	0.65	0.00
営業キャッシュ・フロー	1,108	1,060	48	ROA	1.4	1.2	0.2
有利子負債	7,146	7,135	11	ROE	2.9	2.5	0.4

(注)有利子負債、D/Eレシオは平成29年3月末との比較

### 2.平成29年度 通期見通し <対前回(7.28)見通し>

#### (1)通期見通しのポイント 対前回 減収増益（対前期 増収増益）

ガス販売量	+21百万m <sup>3</sup>	:業務用・工業用等の増等、9月までの実績差を反映
売上高	△130億円	:都市ガス△148億円（売上単価減）、電力+26億円（小売販売量増）他
営業費用	△170億円	:都市ガス△172億円（原材料費単価、減価償却費減）、電力+35億円（電力営業費等増）他
営業利益	+40億円	:都市ガス+24億円、電力△9億円 他 :前提となる経済フレームは変更なし（為替レート:115円/\$、原油価格:55\$/bbl）

		今回	前回	増減	%	28年度	増減	%
ガス販売量(百万m <sup>3</sup> , 45MJ)		15,347	15,326	21	0.1	15,720	△373	△2.4
電力販売量(百万kWh)		14,824	14,615	209	1.4	12,654	2,170	17.1
売上高		17,950	18,080	△130	△0.7	15,870	2,080	13.1
営業費用		17,070	17,240	△170	△1.0	15,287	1,783	11.7
営業利益		880	840	40	4.8	583	297	50.8
経常利益		830	800	30	3.8	556	274	49.0
親会社株主に帰属する当期純利益		630	610	20	3.3	531	99	18.6

経済フレーム	29年度	28年度	増減
為替レート(¥/\$)	113.02	108.38	4.64
原油価格(\$/bbl)	53.19	47.51	5.68
平均気温(°C)	16.0	16.3	△0.3

為替・原油変動のガス粗利影響感度(3Q以降) (単位:億円)

	売上高	原料	営業利益
円・ドルレートが¥1/\$円安	15	25	△10
原油価格JCCが\$/bbl上昇	7	26	△19